

ちゅうじしんじゅしゅ しんじゅしゅせいちゅうじえん  
中耳真珠腫 (真珠腫性中耳炎)

《概念》

中耳腔に病的な<sup>みみあか</sup>耳垢が増殖されて、周囲の組織を侵食していく耳の病気です。  
病的な耳垢の<sup>かたまり</sup>塊が乳白色の真珠のようにみえるため、真珠腫といわれますが、実態は、周囲組織を破壊していくやっかいな病気です。

《原因》

大部分は原因不明です。一部、滲出性中耳炎のひどい癒着型から、移行したとおもわれるものもあります。また、小児では、先天性な症例も見られます。

《症状》

異常に多い耳垢、これは、徐々にたまるため、偶然、耳垢掃除で来院し、真珠腫を指摘されることもあります。感染が加わるとみみだれもでます。耳垢だけでも難聴をきたしますが、進行してくると周囲の中耳組織に影響が及んでくるため、難聴も進行します。これは、鼓膜や耳小骨の変形によるものです。さらに進展すると侵食は、内耳にまで及び、内耳神経付近に到達すると、難聴は高度になり、めまいや時に顔面神経にまで影響をおよぼすこともあります。

《治療》

まず、丁寧な耳垢掃除をします。とった耳垢の一部は確定診断ため、<sup>びょうりそしき</sup>病理組織(顕微鏡による組織診断)に提出します。中耳の<sup>じじょうきよう</sup>自浄作用を促すために耳管による通気療法を併用します。感染を併発している症例は、中耳の洗浄をします。

最終的には、手術をお奨めします。入院が必要になりますので、個々の患者の病態に  
じ、手術については、別に説明いたします。

はなみ会HP

<http://hanamikai.com>

